

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	丹波漆等伝統文化活用・支援事業										事業コード	230288				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち						政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展							
	施 策 名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承								施策コード	431					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課						所属長	井上 郷太郎							
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	78・80	頁	
計画期間	開始年度	平成29年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針						R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	文化財保護法、漆掻き職人移住支援補助金交付要綱、丹波漆苗木購入費等補助金交付要綱、伝統的工芸品等後継者育成事業補助金交付要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	福知山市の伝統文化の保存・継承を行う団体の支援を行うとともに、普及啓発活動を団体と協働で実施し、本市の誇る伝統文化のPRを行う。					
対象者	市民及び伝統文化の保存・継承を行う個人・団体		対象者数	76,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,397		2,359		1,732		1,892					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
		前年度繰越	0		0		0						
		次年度繰越	0		0								
小計(①～③)		2,397		2,359		1,732		1,892					
予算財源内訳	① 一般財源	1,658		927		614		573					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		1,432		1,118		1,319					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	739		0		0		0					
決算情報	① 流充用額	△ 234		△ 149									
	② 配当予算	2,163		2,210									
	③ 執行額	1,500		1,458									
	④ 執行率	69.3%		66.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.42	/	0.00	0.23	/	0.00			/			
	② 概算人件費	3,360		1,840									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,860		3,298									
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	丹波漆等伝統文化活用・支援事業(豊かな森を育てる府民税市町村交付金)		種類	総務費府補助金		626		26	頁		
			丹波漆等伝統文化活用・支援事業(きょうと地域連携交付金)			総務費府補助金		368				決算附属資料	26

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標			
	漆生産量	g	3600	/	5300	2299	/	3600	2900	/	3600	/	5000	5000
			/		/		/		/					
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標			
	漆植栽	本	120	/	220	62	/	100	164	/	100	/	220	220
		単位あたりコスト	13.5		24.2		8.9							
	後継者の育成	人	1	/	1	1	/	1	1	/	1	/	1	3
		単位あたりコスト	1750.0		1500.0		1458.0							

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	■丹後和紙は本市の伝統工芸品であり、その製作技術の継承は、文化の保存の観点から重要である。丹後和紙の製作を行う事業者の後継者育成を支援するため、伝統的工芸品等後継者育成事業補助金を交付した。 ■丹波の漆掻きは本市の伝統的な技術であり、その技術の継承は、文化の保存の観点から重要である。漆掻き技術継承者に対し、福知山市漆かき職人移住支援補助金を交付した。 ■かつて本市にて盛んに行われた藍の栽培及び藍染めの技術の保存及び継承は、文化の保存の観点から重要である。藍の栽培及び藍染めを行う団体の後継者発掘事業を支援するため、伝統的後継者育成事業補助金を交付した。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	■丹波漆、丹後和紙、由良川藍の保存、継承に取り組む団体の活動の活性化のため、補助金の交付等により最小限の支援を行っている。 ■丹波漆を広く知ってもらい、多くの方に関心をもってもらうことが、後継者育成や丹波漆の伝統文化の継承につながると考えており、ショッピングサイトにおいて漆製品の販売をおこなったことは、効率的かつ最小限のコストで漆を知ってもらうことにつながった。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	■丹波漆の伝統文化を活用支援するためには、当然漆生産量を増加していく必要があり、漆生産量増加の支援のため、漆の苗木を保護するネットを設置した。 ■丹波漆を広く知ってもらい、多くの方に関心をもってもらうため、福知山市内、京都市内の店舗やショッピングサイトにおいて漆製品の委託販売を実施した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	■伝統文化の保存、継承に取り組む団体に対して、補助金交付等により継続的に支援を行っている。 ■継続的な漆の植栽支援を行い、昨年度よりは生産量が微増したものの、漆問屋に卸せる量に満たない。植栽から漆が掻けるようになるまで約10年かかること及び漆生産の担い手が少ないことが原因となっている。丹波漆の生産を安定化し、担い手の経済的な安定性を確保するためには植栽支援の他にも継続的な支援が必要である。 ■福知山市内や京都市内において漆製品の展示を行い、委託販売を行うことで、丹波漆の情報を発信している。一方で、丹波漆の生産量が少ないため、漆製品に少量しか使用できないことが課題となっている。		
改 善 策	■丹波漆振興プランを策定し、丹波漆振興の今後の方向性を定める。 ■丹波漆の保存、継承を行う団体が進める漆の植栽、植栽場の管理を支援するとともに、植栽場の管理方法について引き続き土壌改良や病虫害対策などを行う。 ■漆製品を小ロットで販売できる店舗との委託販売を継続し、福知山市内外の展示会へ出展することにより、丹波漆の情報発信を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	丹波漆の方向性が明確に決まるまでは、新たな取組みはおこなわない。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	文化財保全事業							事業コード	640103					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち					政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展						
	施 策 名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承						施策コード	431					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	井上郷太郎						
会計情報	款	10 教育費		項	05 社会教育費		目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	250	頁
計画期間	開始年度	平成4年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針				R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市文化財保全補助金交付要綱													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	国・府・市指定文化財の保全・保護を図り、後世に貴重な文化財を継承するとともに学びを深める。				
対象者	国・府・市指定文化財	対象者数	273	単位あたりコスト	25.2
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	1,800		1,800		1,800		1,800						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		1,800		1,800		1,800		1,800						
予算財源内訳	① 一般財源	1,800		1,800		1,800		1,800						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	1,800		1,800										
	③ 執行額	1,515		1,727										
	④ 執行率	84.2%		95.9%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.58	/	0.30	0.58	/	0.20			/				
	② 概算人件費	5,390		5,140										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,905		6,867										
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算附属資料			頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	維持管理・修繕未解決事項	件	0	/	0	0	/	0	/	0	0
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	維持管理・修繕実施件数	件	9	/	10	10	/	9	13	/	11
	単位あたりコスト		200.0		151.5		132.8				
	単位あたりコスト		/		3		/		/		文化財保全事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・文化財の保護保全のため所有者が行う自火報などの維持管理や文化財の修繕に対して補助を行った。社会的ニーズは高い。 ・文化財の保護・保存が図れるとともに、後世に継承できるため優先度は高い。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・所有者負担は全事業費の1/4以上であり妥当な割合である。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・文化財所有者からの維持管理及び修理に関する相談に対して助言を行った。 ・事前相談などで次年度以降の見込みを成果目標数値としていることから、成果目標は理にかなっている。また実績は実績報告書に基づき把握している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・貴重な文化財を保全・保護・継承することは地域資源及び地域を学ぶ資料として次世代への投資ともなっており、補助事業としては有効である。 ・達成状況については、年度ごとに増減があるため件数を定性的な評価対象とすることは難しい。 ・限られた予算内ですべて対応することは難しい。		
改 善 策	・補助事業の実施により、貴重な文化財を保護し未来へと伝えることができる。今後も継続して実施していく。 ・限られた予算で対応するため、民間財団等による助成金等の活用も積極的に取り入れていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	文化財の所有者等の相談に対して助言を行うとともに、貴重な文化財を後世に伝え残すため引き続き事業を実施していく

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減	☐ 他事業を統合 ☐ 他事業へ統合	(統合事業名:) (統合先事業名:)
--------	--	--	-------------------------

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	夜久野町化石・郷土資料館運営事業							事業コード	640105							
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展									
	施 策 名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承						施策コード	431							
事業担当	所 属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	井上郷太郎									
会計情報	款	10 教育費		項	05 社会教育費		目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	250		頁
計画期間	開始年度	昭和53年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R5現在の状況		継続中	
根拠法令等	夜久野町化石・郷土資料館条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・市民共有の財産である文化財の適切な保管と収集 ・文化財保護・愛護のための普及啓発活動 ・地域学習のための生涯学習資料の提示						
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者			対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (						

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	802		815		370		371					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0									
小計(①～③)		802		815		370		371					
予算財源内訳	① 一般財源	756		769		324		325					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	46		46		46		46					
決算情報	① 流充用額	69		20									
	② 配当予算	871		835									
	③ 執行額	859		822									
	④ 執行率	98.6%		98.4%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.10	/	0.10	0.15	/	0.15			/			
	② 概算人件費	1,050		1,575									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,909		2,397									
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	夜久野町化石・郷土資料館使用料		種類	教育使用料		12		12			
			電柱占用料(夜久野町・化石郷土資料館)			教育使用料		2				決算附属資料	12

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	入館者数	人	350	/	500	122	/	500	184	/	500
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	体験学習と企画展示	件	1	/	1	0	/	1	1	/	1
		単位あたりコスト	709.0				822.0				
		単位あたりコスト	/		5		/		夜久野町化石・郷土資料館運営事業		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	近隣にはこれだけ数多くの化石の展示を行っている類似施設はなくニーズは高く、施設の適切な管理運営を行った。	☒ 高い ☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・運営の効率化と光熱水費の削減を図るため来館者が多い、土、日、祝日のみの開館とした。	
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	外部活用として京都府立大学と協働し、館内資料の再整理を行うとともに資料の再評価を行い、今後の展示方法を検討した。また、8月に体験講座として「化石レプリカ作り」を行った。	
定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	・化石という地域資源を活かした施設としては特徴的である。京都府立大学と連携して行った館内資料の整理はほぼ終了し、資料の新たな価値付けができた。今後の展示に活かしていくとともに、展示替え等行い、目標値に達していない入館者の増につなげたい。		
改 善 策	企画展示の開催に向け、京都府立大学が行う地域貢献型事業を取入れによる展示方法等の検討と展示替えの実施。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	京都府立大学と協働して行った館内資料の再整理により、夜久野地域の歴史を物語る貴重な出土物であることなどが判明した新たな資料の価値付けについて情報発信を行うことにより館の魅力を高めていくとともに、地域貢献型事業として行った末窯跡群の調査研究成果を展示に活かす。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	日本の鬼の交流博物館運営事業							事業コード	640106							
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展									
	施 策 名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承						施策コード	431							
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	井上郷太郎									
会計情報	款	10 教育費		項	05 社会教育費		目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	250		頁
計画期間	開始年度	平成5年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R5現在の状況		継続中	
根拠法令等	日本の鬼の交流博物館運条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・世界の鬼にかかわる資料の収集と保存と公開、情報発信 ・大江山に関する資料の収集と保存と公開、情報発信 ・有形、無形民俗文化財資料の収集と保存と公開						
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者			対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (						

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	5,492		5,998		31,116		7,337				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
		前年度繰越	0		0		0					
		次年度繰越	0		0							
	小計(①～③)		5,492		5,998		31,116		7,337			
予算財源内訳	① 一般財源	3,300		3,202		4,426		4,441				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		22,800		0				
	⑤ その他特財	2,192		2,796		3,890		2,896				
	決算情報	① 流充用額	181		1,598							
② 配当予算		5,673		7,596								
③ 執行額		5,673		7,590								
④ 執行率		100.0%		99.9%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.30	/	3.00	0.40	/	3.20	/				
	② 概算人件費	9,900		11,200								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		15,573		18,790								
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	日本の鬼の交流博物館使用料		種類	教育使用料		2,626		決算附属資料	12	頁
			文化財関係図録・図書			物品売払収入		188			36	
			特製アクリルスタンド			物品売払収入		17			36	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	入館者数	人	10405	/	10000	7535	/	10000	10722	/	10000
	取材等に伴うマスメディア登場回数	回	43	/	25	34	/	25	33	/	25
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	特別(企画)展の回数	回	3	/	3	5	/	3	4	/	3
	単位あたりコスト		1718.7		1134.6		1897.5				
	単位あたりコスト										

日本の鬼の交流博物館運営事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・鬼をテーマとしたまちづくりの拠点であり、鬼文化のPRとして特別展を開催するとともに、全国からの鬼に関する問い合わせに対しレファレンスを行った。	☒ 高い ☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・入館に際しては入館料を徴収しており、受益者負担は妥当である。	
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・特別展の回数は目標値をクリアしている。 ・日本中の鬼に関する資料を収集するとともに、情報発信を行っている	
定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	・福知山市の地域資産である鬼をテーマにした全国的にも珍しい施設である。鬼文化の資料収集を積極的に行うことにより、冊子等の取材、資料の提供に関する問い合わせも多く、福知山市の文化施設としてPR効果は大きい。 ・マスメディア登場回数も目標値を上回っている。 ・施設の老朽化に伴う設備の課題として、計画的な修繕が必要となる。		
改 善 策	・R5年度は館内照明のLED化を行う予定。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	鬼文化のPRや資料の収集・情報発信を引き続き行うとともに、レファレンス対応の充実を図る

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 他事業を統合	☐ 廃止/休止 (統合事業名:	☐ 予算拡充)	☒ 予算縮減 ☐ 他事業へ統合	(統合先事業名:	)
--------	--	---	------------------------------------	---	----------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	文化財整理事業							事業コード	640107							
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展									
	施 策 名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承						施策コード	431							
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	井上郷太郎									
会計情報	款	10 教育費		項	05 社会教育費		目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	250		頁
計画期間	開始年度	平成元年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R5現在の状況		継続中	
根拠法令等	-															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・文化財資料の整理作業 ・埋蔵文化財収蔵庫(天津)、文化財収蔵庫(三和・夜久野)の維持管理費				
対象者	文化財資料	対象者数	100,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	1,088		1,805		1,618		1,720		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
		前年度繰越	0		0		0			
		次年度繰越	0		0					
小計(①～③)		1,088		1,805		1,618		1,720		
予算財源内訳	① 一般財源	1,088		1,805		1,612		1,714		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	0		0		6		6		
決算情報	① 流充用額	△ 183		154						
	② 配当予算	905		1,959						
	③ 執行額	859		1,951						
	④ 執行率	94.9%		99.6%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.40	/	0.00	0.35	/	0.05	/		
	② 概算人件費	3,200		2,925						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,059		4,876						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	資料の保管状況	—	異常なし	/	異常なし	異常なし	/	異常なし	/	異常なし	異常なし
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	ミニ企画展	回	0	/	2	2	/	2	/	2	2
		単位あたりコスト	0.0		429.5		975.5				
	資料整理点数		0	/	0	0	/	0	/	500	文化財整理事業
		単位あたりコスト	0.0				17.7				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・文化財資料は地域資産である。この地域資産の保管は市民の財産であり、それを保管する施設の適切な管理を行った。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・受益者との負担関係、単位あたりコストを明確にするのは難しい ・移転した資料の集約化により資料管理と資料整理の効率化につながった。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・資料の保管は文化財保護の基本であり成果目標は適切である ・目標値どおり図書館中央館において考古資料のミニ企画展を開催した。	
定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	文化財資料の整理作業及び文化財資料を保管する施設の維持管理は後世に貴重な文化財を伝え残すのに不可欠なものである。また、資料の劣化、散逸を防ぎ後世に伝えるためにも有効である。 収蔵施設の老朽化が課題である。		
改 善 策	収蔵施設の長寿命化のため適切な修繕を実施していく必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	後世に貴重な文化財資料を引き継ぐため、引き続き収蔵施設の管理を徹底するとともに、資料活用としての資料展示や紹介を行う。また、必要な修繕があれば適切に対応していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	文化財資料移転事業										事業コード	640123			
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち						政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展						
	施 策 名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承								施策コード	431				
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課						所属長	井上郷太郎						
会計情報	款	10 教育費		項	05 社会教育費		目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	250・252	頁
計画期間	開始年度	令和4年度		終了予定年度	令和6年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	-														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	収蔵資料を適切な収蔵庫へ移転し、地域文化の継承のため文化財資料の適切な保管と整理を行う。				
対象者	文化財資料	対象者数	21,000	単位あたりコスト	0.5
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	0		11,129		4,450		39,184						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		0		11,129		4,450		39,184						
予算財源内訳	① 一般財源	0		11,129		1,550		150						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		2,900		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		39,034						
決算情報	① 流充用額	0		△ 2,038										
	② 配当予算	0		9,091										
	③ 執行額	0		7,344										
	④ 執行率	0.0%		80.8%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.44	/	0.20			/				
	② 概算人件費	0		4,020										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		11,364										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算附属資料			頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	移転未保管件数	件	/	/	0 / 0	/ 0	0
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	資料整理数	点	/	/	10000 / 10000	/ 6000	21000
	単位あたりコスト		0.0		0.7		
	移転件数	件	/	11 /	2 / 1	/ 1	文化財資料移転事業
	単位あたりコスト		0.0		3672.0		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・本市のこれまでの歩みを示す歴史資料を後世に残すため、三和支所2階文化財収蔵庫と旧東部保健福祉センターに保管する資料を旧育英小学校へ移転し、整理分類を行った。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・移転に際しては、複数業者から見積徴取を行いコスト比較を行った。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・目標通り資料の移転を行うことができ未保管資料はなし。 ・資料整理、移転件数ともに目標値を達成している。	
定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	本市の歩みを示す資料を無事移転することができ、また整理分類を行うことができたことは評価できる。課題として、貴重な資料を後世に伝え残すためには、保管施設の維持管理が重要になる。		
改 善 策	施設の維持管理については、定期的な点検を行うとともに、必要な個所には修繕を施していく必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	老朽化した収蔵施設より移転した資料の整理・管理・活用を行うとともに、老朽化した収蔵施設の除却を行う

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☒ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	市内遺跡発掘調査事業(国庫補助事業)										事業コード	640125			
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち						政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展						
	施 策 名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承								施策コード	431				
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課						所属長	井上郷太郎						
会計情報	款	10 教育費		項	05 社会教育費		目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	252	頁
計画期間	開始年度	平成23年度		終了予定年度	令和4年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R5現在の状況	廃止/休止	
根拠法令等	文化財保護法														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・範囲、内容等詳細不明な遺跡の実態調査のため測量及び試掘等を行い、調査範囲周辺での開発計画に対応する遺跡の保存保護資料を得る。 ・出土した金属製品を後世に引き継ぐため保存処理を行う。				
対象者	埋蔵文化財	対象者数	1	単位あたりコスト	6,032.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	2,000		2,000		0		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
	小計(①～③)	2,000		2,000		0		0						
予算財源内訳	① 一般財源	500		500		0		0						
	② 国支出金	1,000		1,000		0		0						
	③ 府支出金	500		500		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
	決算情報	① 流充用額	35		36									
② 配当予算		2,035		2,036										
③ 執行額		2,027		2,032										
④ 執行率		99.6%		99.8%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.50	/	0.00	0.50	/	0.00			/				
	② 概算人件費	4,000		4,000										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,027		6,032										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	市内遺跡発掘調査事業		種類	教育費国庫補助金		実績金額	1,000		決算附属資料	22		頁
			市内遺跡発掘調査事業			教育費府補助金			500			32		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	遺跡内容把握	件	1	/	1	1	/	1	/		-
	保存処理点数	点	0	/	0	1	/	1	/		-
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	調査件数	件	1	/	1	1	/	1	/		-
	単位あたりコスト		2063.0		2027.0		2032.0				
	単位あたりコスト				13				市内遺跡発掘調査事業(国庫補助事業)		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・埋蔵文化財保護の観点から、上松遺跡の範囲内容確認調査を行った。 ・郷土資料として後世に伝えるため池ノ谷1号墳出土金属製品の保存処理を行った。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・直営ではあるが、事業に必要な業務(保存処理・自動車借上)については、複数業者から見積もりを徴取するなどコスト比較を行った。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・上松遺跡の範囲内容把握をすることにより、今後の開発事業に迅速に対応できる。調査規模や調査期間などから年1回実施するのが適切であり、成果目標は理にかなっている。また、実績においても適切に把握・測定できている。	
定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	埋蔵文化財の範囲内容が確認されることにより、開発行為から埋蔵文化財保護のため方針を立てることができ、市民の貴重な財産である埋蔵文化財の保護につながる。また、調査により得られた資料は市民が郷土学習の資料として活用することができる。		
改 善 策	開発事業に先行し、遺跡の範囲内容を確認する必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☒ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	開発行為に伴う緊急的な立会調査・試掘調査・発掘調査への対応が増加していることから一時休止とする

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☒ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	文化財保護啓発事業							事業コード	640139					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展							
	施 策 名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承						施策コード	431					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	井上郷太郎							
会計情報	款	10 教育費		項	05 社会教育費		目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	252	頁
計画期間	開始年度	平成30年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針				R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市文化財保護に関する条例													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (													

事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市内の文化財を未来へとつないでいくため文化財の保護と啓発を推進する				
対象者	市民	対象者数	76,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	1,368		1,343		1,902		1,547						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		1,368		1,343		1,902		1,547						
予算財源内訳	① 一般財源	1,368		1,343		1,431		1,547						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		471		0						
決算情報	① 流充用額	△ 103		230										
	② 配当予算	1,265		1,573										
	③ 執行額	1,065		1,433										
	④ 執行率	84.2%		91.1%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	1.52	/	0.60	0.98	/	0.20			/				
	② 概算人件費	13,660		8,340										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		14,725		9,773										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算附属資料			頁

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	文化財指定等件数	件	7	/	1	8	/	1	/	1	1
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	展示回数	回	3	/	3	8	/	3	/	5	5
	単位あたりコスト		361.3		133.1		179.1				
			/		/		/		/		
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	文化財保護のため指定や普及啓発活動を行うことは、未来へと文化財をつないでいくことにつながり優先度は高い。指定等に向け未指定文化財の調査を専門家とともに行ったほか、市民が歴史に触れることのできる機会として、重要文化財である盤龍鏡ほか市内歴史資料の展示を美術館等で行った。また、文化財の現地見学として市内の文化財巡りも行った。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・調査対象を絞り、まとめて行う効率的な調査の実施がコスト削減に直結している。 ・実施した指定文化財調査(無量寺・大蔵神社・天神神社・有徳神社・一宮神社)	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・文化財保護審議会を開催し指定に関する協議を行った。 ・展示については、市制85周年記念展示「珠玉の出土遺物」展、再展示を望む声が高かった「成田亨」展、図書館での資料整理の成果を示す展示を3回(うち1回は福知山公立大学とコラボ展示)行ったため、活動実績は見込み以上である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・未指定文化財の調査研究結果に基づき、文化財保護審議会での審議を経て目標通り年1件以上の指定等を行っており適切に業務をおこなっている。 ・展示については計画を大幅に上回っている。 ・市内文化財の把握密度を高めるため悉皆調査を実施する必要がある。		
改 善 策	・これまで調査されてきた歴史資料の再確認を行い、新たな評価を付加するとともに、資料の説明会などを開催し、市民とともに地域の財産として共有し保存していく取り組みの実施		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	文化財の指定業務を進めるとともに、市民における文化財愛護の理解をより深めてもらうため、展示や講座などの開催による普及啓発業務を引き続き実施していく

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 他事業を統合	☐ 廃止/休止 (統合事業名:	☐ 予算拡充)	☒ 予算縮減 ☐ 他事業へ統合	(統合先事業名:	)
--------	--	---	------------------------------------	---	----------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山城天守閣管理運営事業										事業コード	650303			
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち					政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展							
	施 策 名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承								施策コード	431				
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	井上 郷太郎							
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	82	頁
計画期間	開始年度	昭和61年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山城天守閣条例														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	本市の歴史資料、民俗資料、考古資料等の保存・収集及び歴史と文化的な特徴を展示し、市民や本市来訪者へ普及啓発を図り、生涯学習活動の推進と市民文化の発展に寄与する。 福知山城の歴史や特色を紹介し、福知山に対する愛着と理解を深める。 本市の歴史的シンボル、市民の心の拠り所である「福知山城」天守閣建物の適正な管理・運営を行う。						
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者(市内外を対象)		対象者数	1,000,000		単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (						

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	13,070		16,728		9,090		9,066					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0									
小計(①～③)		13,070		16,728		9,090		9,066					
予算財源内訳	① 一般財源	86		0		0		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		4,000		0		0					
	⑤ その他特財	12,984		12,728		9,090		9,066					
決算情報	① 流充用額	△ 926		△ 754									
	② 配当予算	12,144		15,974									
	③ 執行額	9,678		14,060									
	④ 執行率	79.7%		88.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.40	/	2.96	0.41	/	2.96	/					
	② 概算人件費	10,600		10,680									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		20,278		24,740									
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	福知山城天守閣入館料等		種類	総務使用料		7,863		決算附属資料	10		頁
			御城印			物品売払収入		2,597			36		
			福知山城天守閣管理運営事業(公道・脱炭素化)			総務債		3,600			52		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標			
	入館者数	人	109189	/	50000	39134	/	60000	50876	/	50000	/	60000	60000
				/			/			/				
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標			
	開館日数	日	312	/	365	223	/	305	249	/	365	/	308	308
		単位あたりコスト	48.9		43.4		56.5							
			/		/		/		/					
		単位あたりコスト												

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	■本市の歴史を紹介する文化的価値の高い施設であり、福知山市の象徴・観光スポットとしても重要な本施設を維持することは必要性がある。 ■入館者が快適に利用できるよう設備点検や清掃・受付業務などを行い、施設を維持管理している。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	■前年度実績を基に、職員配置や委託業務を最低限の範囲で行うなど、効率的・効果的に運営している。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	■施設運営にあたっては新型コロナウイルス感染対策を適切に実施している。 ■来館者増加を目指し、竜王戦や京都府アートプロジェクト、関西文化の日等、公共・民間の事業に協力している。	
定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	■新型コロナウイルス感染拡大による臨時休館等がなく、竜王戦の会場となった影響もあり、来館者数が回復した。 ■再建から30年以上が経過し、施設の老朽化が課題となっている。		
改 善 策	■来館者数維持・増加のため、一時の話題性のみでなく、施設の特色を活かした企画運営及び周知活動を実施する。 令和4年度は将棋のタイトル戦「竜王戦」の舞台として多くのメディアに取り上げられた。令和5年度は前年度に続いて「京都府アートフェスティバル」の実施や福知山城公園内にて開館する福知山鉄道館フクレルと天守閣との共通券を販売し、フクレル開館との相乗効果でお城をPRしていく。 ■施設改修については、高優先度の箇所から実施する一方で、長期的展望及び施設運営面をもとに老朽化対策を実施していく必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	施設については、計画的な修理補修をおこなっていく。 城郭研修会等に参加し、他の城の取組みや展示等の情報を入手し、福知山城の良さを残しつつ、新たな企画展や展示手法等の情報収集する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

| 事業属性

(単位：千円)

II 事業基礎情報

III 予算執行状況

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	入館者数	人	10077 / 10000	3626 / 10000	4297 / 10000	/ 10000	10000
	施設貸し室件数	件	114 / 100	85 / 100	90 / 100	/ 100	100
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	展示会・講座・教室の回数	件	30 / 25	20 / 25	21 / 25	/ 25	25
		単位あたりコスト	220.9	281.2	317.5		
			/	/	/	/	
		単位あたりコスト					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	■地域に伝わる丹波生活衣は市重要文化資料の指定を受けており、後世に残していくことは重要であり、伝統文化を継承していく必要性は非常に高い。 ■明治から昭和初期の収蔵品の展示や織物体験などの体験教室などを行い、地域に伝わる生活衣館の文化の継承に寄与した。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	■効率的な運営を図るため、施設職員と丹波生活衣同好会が協力して独自で特別展や共催企画展を企画、運営している。それにより、業者委託するより独自性高く、コストも抑えることが出来た。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	■伝統文化を有効的に伝えるだけでなく、施設利用者を増加させるために手作り講習会や藍染講習会などの企画展や講習会を行っている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	■地域に伝わる文化資料を収集し適正に保存し展示することで後世に伝えていくという役割を果たせていると言える。 ■今後、多くの方に来館してもらうための企画や広報等が課題である。		
改 善 策	■今後、入館者アンケート等を実施し、現況をしっかりと把握した上で効果的な企画運営に役立てていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☒ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	織物体験やミサンガ作りなどの、既存のイベントに追加する形で、海外旅行者向けの着物着付け体験や着物を着て、周辺施設を周遊してもらうことなどを検討していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 他事業を統合	☐ 廃止/休止 (統合事業名:)	☐ 予算拡充 ☐ 他事業へ統合	☐ 予算縮減 (統合先事業名:)
--------	---	--	--	--

| 事業属性

(単位：千円)

II 事業基礎情報

III 予算執行状況

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標		単位	R2	R3	R4	R5		最終目標
	入館者数		人	1900 / 3300	1603 / 3300	1927 / 3300	/	3300	3300
				/	/	/	/		
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標		単位	R2	R3	R4	R5		最終目標
	開館日数		日	258 / 305	202 / 305	213 / 305	/	305	305
		単位あたりコスト		15.4	15.8	16.4			
	延べ語り部活動従事者数		人	350 / 1000	179 / 1000	278 / 1000	/	1000	1000
		単位あたりコスト		2.1	17.8	12.6			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	■福知山は歴史的に水害の多い地域であり、由良川の水害、治水に関する歴史的資料を後世に残していくことは重要である。 ■これらを伝え、多くの人に普及していくために常設展に加え防災グッズ展などの特別展を開催し、来館者増に努めた。	☐ 高い ☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	■語り部である柳菱クラブ会員に案内業務を委託し、来客が多く見込まれる日に勤務いただくことで水害の歴史を伝えていくことができた。	
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	■歴史的建造物である町屋建物を、治水防災の歴史と文化を紹介するだけでなく、五月人形展などの特別展にも有効活用し入館者増に向けて取り組んだ。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	■治水と水害の歴史を体験と合わせて学べる施設として役割を果たしている。 ■入館者数が目標を達成できておらず、近年語り部の高齢化による減少で、これまでのように体験談を来館者に伝えることが難しくなっている点が課題となっている。		
改 善 策	■特別展などの広報を積極的に行い来館者を呼び込む。 ■語り部の体験談をデジタルデータで保存し、展示することで後世に残していくことに加えて、現在各地で起こっている災害に関する展示を行い、これからの防災について検討していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	治水と町家の両方の観点から、イベントの開催やR5年度に作成の28災インタビュー動画等のコンテンツ等をうまく活用、PRしていくことで施設への入館者数の増加を図る。 R6年度予算の増加分について、ビルトインのエアコン2基が故障したため、新設をおこなう。また敷地内と堤防との間にフェンス設置をおこない、安全面を確保する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☒ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	芦田均記念館管理運営事業							事業コード	650316							
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展									
	施 策 名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承						施策コード	431							
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	井上 郷太郎									
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	84		頁
計画期間	開始年度	平成14年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R5現在の状況		継続中	
根拠法令等	-															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	福知山市市内唯一の総理大臣経験者であり、福知山市名誉市民である芦田均元首相に関する資料を保存及び活用することで、地域文化の向上に寄与する。						
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者			対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☒ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (						

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	3,909		3,911		3,911		4,197				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0								
小計(①～③)		3,909		3,911		3,911		4,197				
予算財源内訳	① 一般財源	3,854		3,856		3,856		4,142				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	55		55		55		55				
決算情報	① 流充用額	0		23								
	② 配当予算	3,909		3,934								
	③ 執行額	3,905		3,929								
	④ 執行率	99.9%		99.9%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.31	/	0.00	0.21	/	0.00			/		
	② 概算人件費	2,480		1,680								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,385		5,609								
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	芦田均記念館使用料		種類	総務使用料		実績金額	14		10	頁
									決算附属資料			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	入館者数	人	1800	/	3500	1496	/	3500	2377	/	3500
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	開館日数	日	271	/	310	239	/	310	254	/	310
		単位あたりコスト	14.4		16.3		15.5				
	イベント開催回数	回	0	/	5	1	/	5	6	/	10
		単位あたりコスト	0.0		3905.0		654.8				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	■本施設により、市民のシビックプライド向上に寄与する点や本市出身の先人から多くのことを学ぶという点において、施設の存続や管理の必要性は高い。 ■福知山市内唯一の総理大臣経験者であり、福知山市名誉市民である芦田均元首相を市民や市外の方に広く伝え、知ってもらうために芦田均元首相を紹介し、顕彰するため、資料等の管理及び展示を実施した。 ■地域住民の文化活動の場を設けるため、多目的ホールや和室の貸室を行い、囲碁教室や研究会に利用された。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	■施設の効率的な運営を図るため、指定管理者制度を導入し、地元住民を中心とする組織である芦田均元首相顕彰会に施設の管理、施設利用受付、清掃等を委託した。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	■入館者数増加の目標に向けて、指定管理者による自主事業が計画されていたが、新型コロナウイルス感染拡大により、文化講演会・囲碁大会等の事業が中止となった。その中で、実施可能な事業として書初め大会が開催された。 ■自主事業として「土田直敏人物画展」や地域住民による「みんなの作品展」を開催した。	
定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	■指定管理者による、著名な有識者を招いての講演会が記念館事業のメイン事業となっており、他にも地元住民による作品展を開催するなど、多様なテーマの自主事業を実施している。一方で、芦田均元首相を顕彰する施設としての特色のある自主事業が少ない。 ■帰郷者が多く訪れる正月三が日に自主的に臨時開館するなど、指定管理者による積極的な施設運営が行われている。 ■新型コロナウイルス感染拡大による自主事業の中止により、イベントの開催回数が減少している。 ■施設内の芦田均生家が老朽化している。		
改 善 策	■芦田均元首相に関する資料の紹介、発信方法等を指定管理者とともに検討する。 ■指定管理者の地縁的特性を活用し、現在の指定管理者独自の自主事業の実施を検討する。 ■施設の運営について、多くの方が来館するために既存資源をブラッシュアップし、魅力ある企画を検討する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☒ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	R6年度から指定管理の新たな契約期間(R6年度～R8年度)となるのに合わせて、評価委員等から指摘されたSNSを活用した広報活動や、地元企業とのスイーツを使った収益性の確保等を官民連携して取組んでいく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☒ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	額田ダシまつり補助事業							事業コード	130321						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展								
	施 策 名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承						施策コード	431						
事業担当	所属	02090000 地域振興部 夜久野支所				所属長	中島 美香								
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計		決算付属資料		頁
計画期間	開始年度	平成12年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－				R5現在の状況		継続中	
根拠法令等	額田ダシまつり(額田のダシ振興会)補助金交付に関する要綱、額田ダシまつり(額田区自治会長会)補助金交付に関する要綱														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	京都府及び福知山市無形民族文化財に登録されている額田のダシまつり(江戸時代から続く独自の伝統文化)を後世に継承し、観光資源として広くPRする。					
対象者	観光客及び額田地域住民		対象者数	10,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	323		223		323		223						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
		前年度繰越	0		0		0							
		次年度繰越	0		0									
小計(①～③)		323		223		323		223						
予算財源内訳	① 一般財源	323		0		100		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		223		223		223						
決算情報	① 流充用額	△ 323		△ 203										
	② 配当予算	0		20										
	③ 執行額	0		0										
	④ 執行率			0.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00	/	0.02	0.10	/	0.00			/				
	② 概算人件費	50		800										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		50		800										
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算付属資料			頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	入り込み客数	人	0	/	10000	0	/	10000	0	/	10000
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	下ダシ製作数	個	0	/	7	0	/	7	0	/	7
		単位あたりコスト	0.0								
	上ダシ製作数	個	0	/	2	0	/	2	0	/	2
		単位あたりコスト	0.0								

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	京都府及び福知山市無形民族文化財に登録されており、地域文化を継承・創造する個性ある地域づくりに対する支援が必要である。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	事業の大半は、地元負担で賄っており、数年にわたり補助金の減額を行い効率的である。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	京都府及び福知山市無形民族文化財に登録されており、地域文化の継承だけでなく、特色ある観光資源としての価値も注目され有効である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	夜久野学園や保育園のダシ制作等により、伝統文化の継承という目的は一部達成できているが、入込客数が減少傾向となっている。コロナ禍でこの3年開催できなかったことで、作り手、担い手の減少や技術の継承等、再開に影響を与えるのではないかと懸念している。地域文化を継承・創造する個性ある地域づくりに向けて、市としては伝統文化を継承するために額田のダシまつりを継続させる必要がある。		
改 善 策	「福知山観光地域づくりセンター」・「海の京都、森の京都DMO」等と連携し、アフターコロナを見据えたインバウンド等も含めたPR戦略等を検討していく。コロナにより続いた中止や担い手不足等による技術、祭の継承が懸念される中、今後補助金の活用方法として事業継承につながるような取り組み(学校への出前講座や、ダシ作り体験講座の開催など)が行えないかを地元団体等と話し合っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	○補助金についてはコロナ対策補助金を無くし、協賛金等資金獲得に努めてもらい事業の安定を図る。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 他事業を統合	☐ 廃止/休止 (統合事業名:)	☐ 予算拡充 (統合先事業名:)	☒ 予算縮減 ☐ 他事業へ統合	(統合先事業名:)
--------	--	---	---	---	------------

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	やくの木と漆の館事業							事業コード	230215							
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展									
	施 策 名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承						施策コード	431							
事業担当	所 属	02090000 地域振興部 夜久野支所				所属長	中島 美香									
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計		決算附属資料	92		頁
計画期間	開始年度	平成12年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R5現在の状況		継続中		
根拠法令等	福知山市ファームガーデンやくの条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	夜久野は古来日本でも有数の漆の産地であり、人々の暮らしを支えてきた生業は漆掻きであった。そんな夜久野の歴史を残し、伝えていくことを目的に設置された「やくの木と漆の館」を、丹波漆の伝統継承と漆産業の振興を目的に設立された「NPO法人丹波漆」の活動と連携を図りながら管理運営し、地元の漆を使った夜久野ならではの製品をすることで、丹波漆の良さを伝えていく。					
対象者	市民、利用者		対象者数	1,500	単位あたりコスト	10.1
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	3,940		5,688		3,913		6,318			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0					
	次年度繰越	0		0							
小計(①～③)		3,940		5,688		3,913		6,318			
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0			
	② 国支出金	1,961		1,813		1,956		1,980			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		1,800		0		0			
	⑤ その他特財	1,979		2,075		1,957		4,338			
決算情報	① 流充用額	△ 253		△ 1,451							
	② 配当予算	3,687		4,237							
	③ 執行額	3,299		3,822							
	④ 執行率	89.5%		90.2%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.26	/	3.05	0.55	/	2.75	/			
	② 概算人件費	9,705		11,275							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		13,004		15,097							
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	やくの木と漆の館入館料		種類	総務使用料		446		10	頁
			やくの木と漆の館事業(地域創生推進交付金)			総務費国庫補助金		1,352			
			やくの木と漆の館物品			物品売払収入		1,930			
						実績金額		決算附属資料		18	
										36	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標		単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	入館者数		人	1012	/ 1500	857	/ 1500	1365	/ 1500	/ 1500	1500	
	蒔絵・金継ぎ教室参加者		人	179	/ 300	109	/ 300	200	/ 300	/ 300	300	
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標		単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	蒔絵・金継ぎ教室開催		日	38	/ 33	28	/ 33	40	/ 33	/ 33	33	
	単位あたりコスト			95.2		117.8		95.6				
	企画展等開催		回	3	/ 12	27	/ 12	3	/ 12	/ 12	やくの木と漆の館事業	
	単位あたりコスト			1205.7		1649.5		1274.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	やくの地域の伝統文化である丹波漆を福知山市のブランド品にしていいため、当該施設を管理運営し、地元の漆を使った夜久野ならではの製品を作ることによって丹波漆の良さを伝えていく必要がある。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	NPO法人丹波漆が漆を植栽し育て、やくの木と漆の館において漆器の展示・制作・販売・体験等を行うことによって役割分担ができ、官民が連携する形で漆の魅力を発信している。また、漆に精通した職員の配置は、漆器の製作、体験等の対応に適切であり、効率的である。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	「農匠の郷やくの」の施設の運営事業のひとつとして、観光振興に資する事業である。体験・教室の実施により、来館者は一定確保できており有効である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	丹波漆の伝統として、また、漆塗りや絵付けなど様々な漆芸が行える体験型施設として運営するとともに、漆器の制作販売や、漆芸作家作品等の展示、各種資料展示、体験教室などを通じて地域文化の活性化を図った。また、文化庁が国宝や重要文化財の修復にかかる上漆を外国産漆から国産漆に切り替える方針を示す中、京都府も夜久野地域の漆の再生にむけて支援を強化しており、府・市・NPO法人丹波漆との連携が強化された。コロナ禍により、入館に制限をかけたり、イベント・教室を縮小したため、成果活動実績は目標に達しなかった。		
改 善 策	アフターコロナを見据えながら、道の駅「農匠の郷やくの」の特徴ある施設として他の施設との連携により、全体の集客増を図るとともに、「福知山観光地域づくりセンター」・「海の京都、森の京都DMO」等との連携、インバウンド対策、PR戦略等を強化する。そのためにも、現在、殆どが休館となっている「農匠の郷やくの」の全体活用の方向性を早期に確定させていく。文化庁が京都府に移転し、国との連携も視野に入れた漆振興策も検討する中、ECサイトを活用した漆製品のPR等、新たな販売戦略に取り組む。限られた館内スペースでの増員目標には無理があり、出張体験やショップの出店を通じた漆文化のPRに努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	文化・スポーツ振興課所管の「丹波漆活用事業」や「福知山観光地域づくりセンター」・「海の京都、森の京都DMO」等と連携し、インバウンド対策、PR戦略等を検討していく。また、国との連携も視野に入れた漆振興策を検討する。定期的に開催している時絵教室や金継ぎ教室、随時受付けている絵付け体験、また、一年を通し実施している彫刻家等によるワークショップ等、漆の振興につながる取組を継続する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	元伊勢八朔祭補助事業										事業コード	130332						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち						政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展									
	施 策 名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承								施策コード	431							
事業担当	所属	02100000 地域振興部 大江支所						所属長	神内 明宏									
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	10 地域交流推進費			会計	01 一般会計		決算付属資料	-		頁	
計画期間	開始年度	昭和60年度		終了予定年度	令和5年度		関連計画名						R5現在の状況		継続中			
根拠法令等	福知山市元伊勢八朔祭補助金交付要綱																	
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (																	

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	明暦4年(1658年)から続く京都府伝統的行催事である「元伊勢八朔祭礼」の保存継承に取り組む「元伊勢八朔祭礼練込保存会」に対して支援を行うことにより、福知山の伝統文化の発信や次代への継承及び地域の活性化を図る。また、伝統文化の発信により観光客の入込みを図る。				
対象者	観光客及び市民		対象者数	—	単位あたりコスト
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	160		60		60		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		160		60		60		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		60		60		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	160		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	160		60										
	③ 執行額	0		0										
	④ 執行率	0.0%		0.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.05	/	0.00	0.03	/	0.00	/						
	② 概算人件費	400		240										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		400		240										
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算付属資料			頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	入込客数	人	—	/	1500	—	/	1500	—	/	1500
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	奴行列・鳥毛廻し実施回数	回	—	/	1	—	/	1	—	/	1
	単位あたりコスト		0.0								
	鳥毛廻し参加地区数		—	/	3	29	/	3	—	/	3
		単位あたりコスト	0.0								

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・コロナ禍の影響を受け、感染症拡大防止の観点から元伊勢八朔祭礼練込みは中止となったが、伝統の継承及びイベントによる地域活性化の取組みは地域組織により継続して行われており、伝統的行催事保存の目的は、達成されている。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・市補助金に依存する運営とならないよう自主財源や他の助成による運営を促すため、団体との協議により補助金の減額を行い、現補助額となっており、補助額は、対象経費を精査した上で、妥当な額である。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・成果の入込客数については、未実施により目標数値との乖離はあるが、目的である地域文化の継承においては、団体の活動により次代に引き継がれている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・地域文化を継承・創造する個性ある地域づくりに向けて、「元伊勢八朔祭礼練込み」の保全継承などに取り組む「元伊勢八朔祭礼練込保存会」の活動は、コロナ禍の影響を受け未実施であったが、保存会の地域内での活動により、登録無形民俗文化財の継承が行われ、次代に引き継がれている。 ・保存会を核に内宮・二俣・天田内の3地区において伝統的行事の継承と伝統の発信の活動が継続されており、目的を達成している。		
改 善 策	・地区人口の減による伝統継承者の不足が課題にあり、伝統的行催事の保存継承者の確保が必要とされ、地域外で生活されている地域出身者にも協力を求め、保存継承者の確保を図っている。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☒ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	・元伊勢八朔祭礼の練込については、児童、生徒の激減により笛太鼓や奴行列の編成が困難となったことを踏まえ、令和5年度以降は実施見込みはない。令和5年3月13日付で京都府知事宛に同様の内容の文書を送付されている。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☒ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--	---